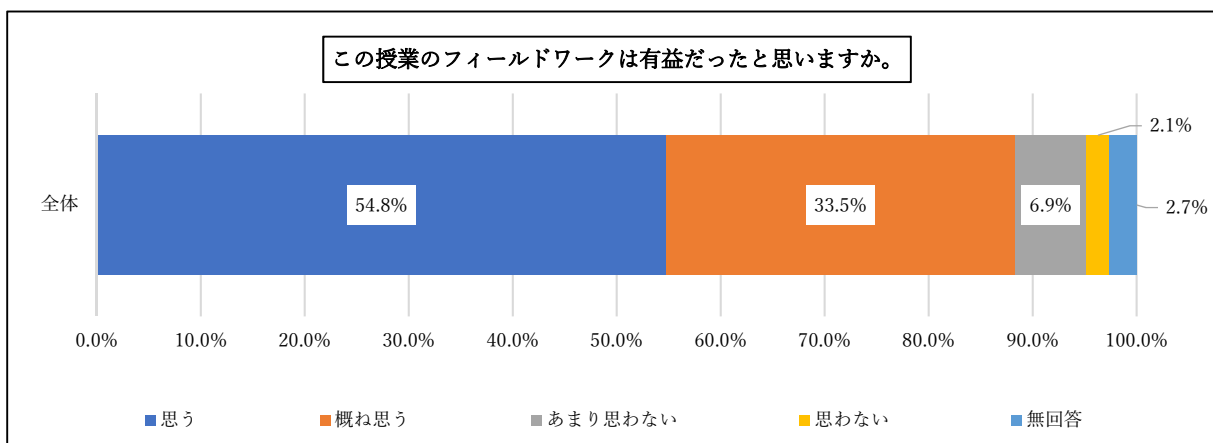
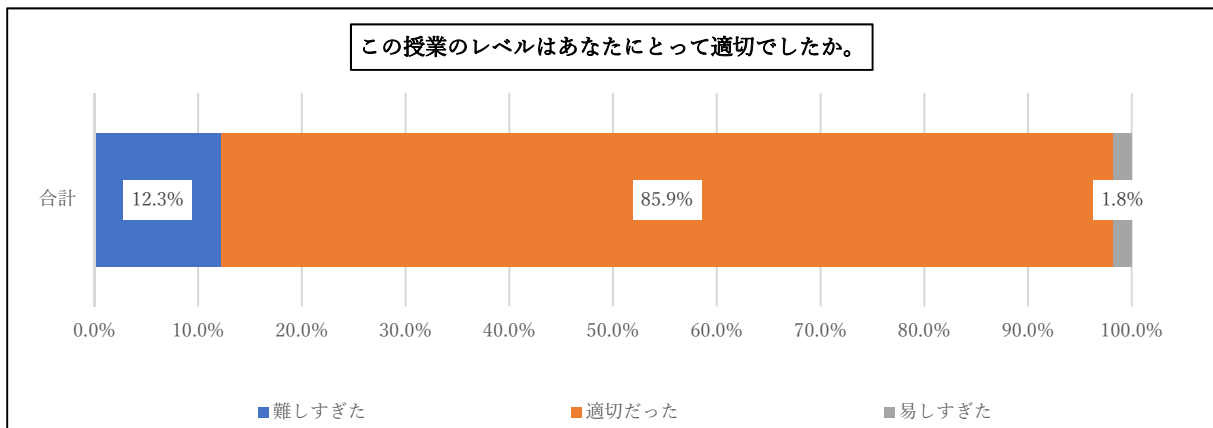
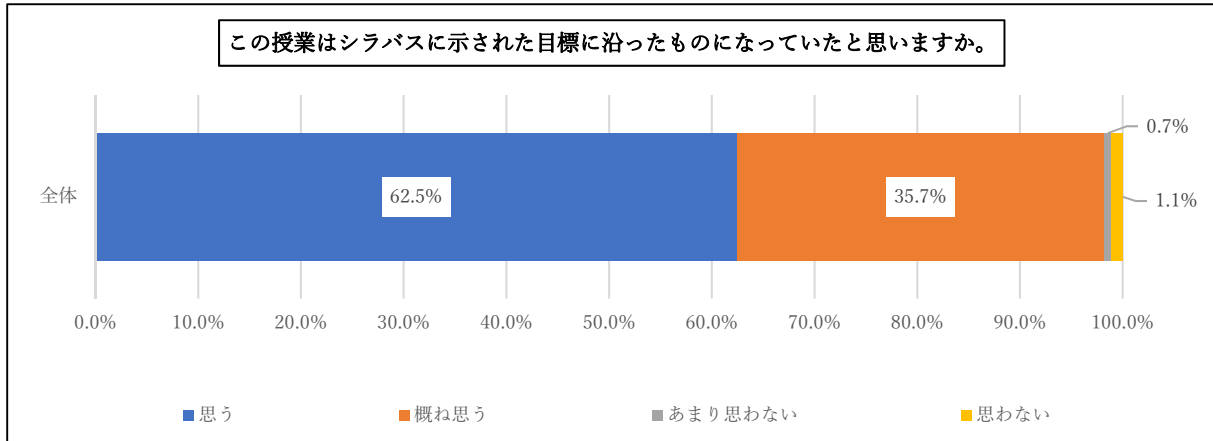
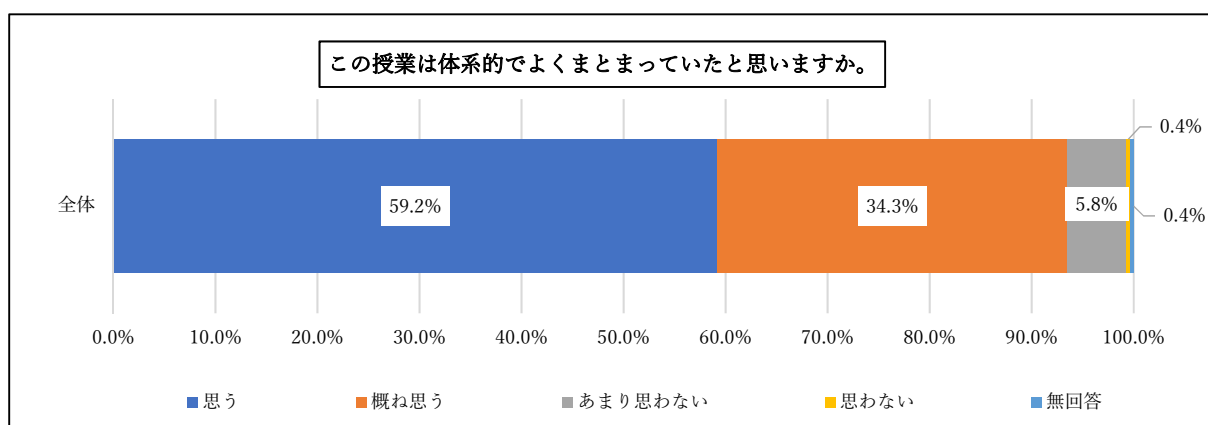
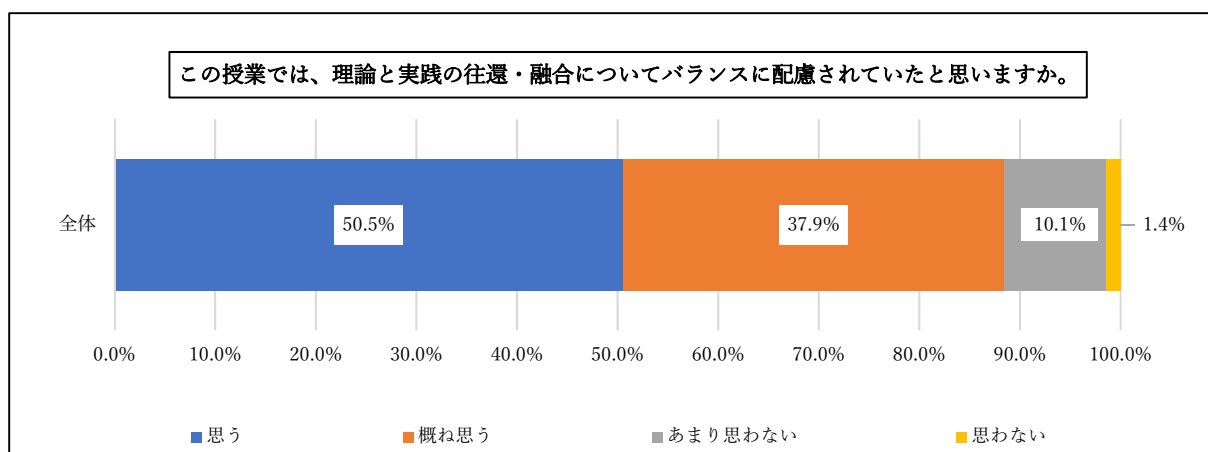


2024 年度春学期「授業アンケート」

授業アンケートの結果

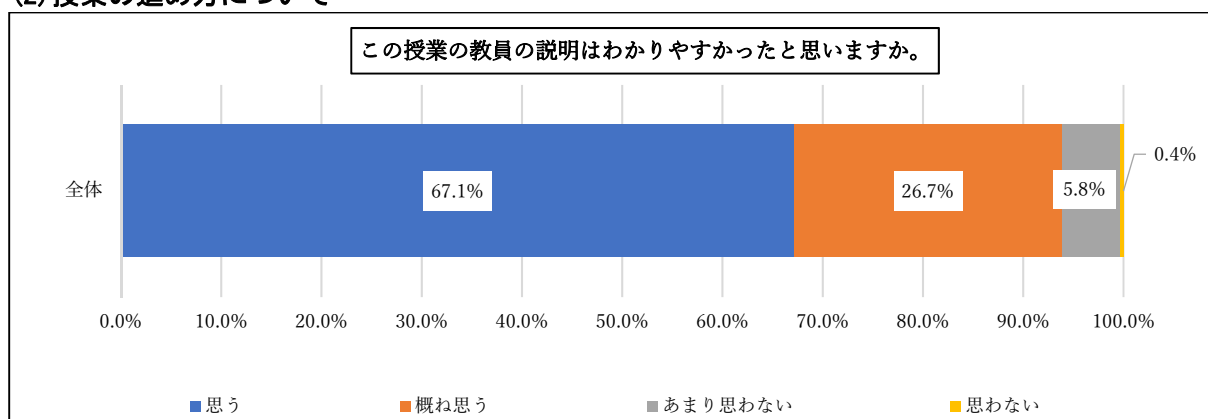
(1) 授業内容について

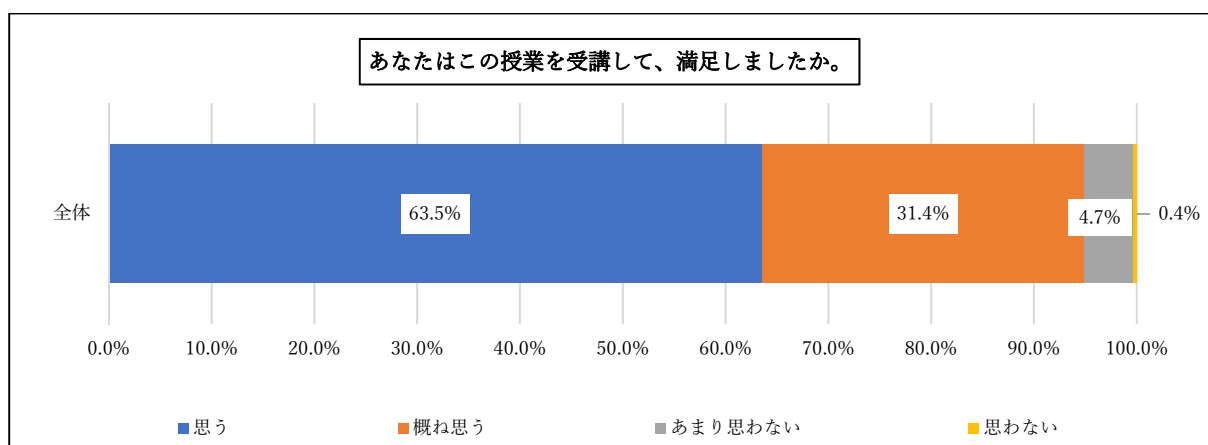
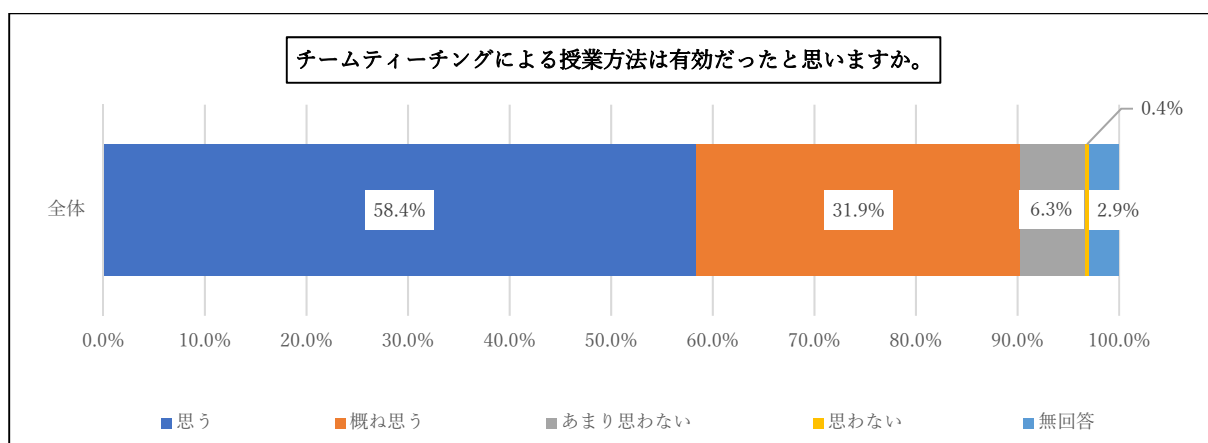
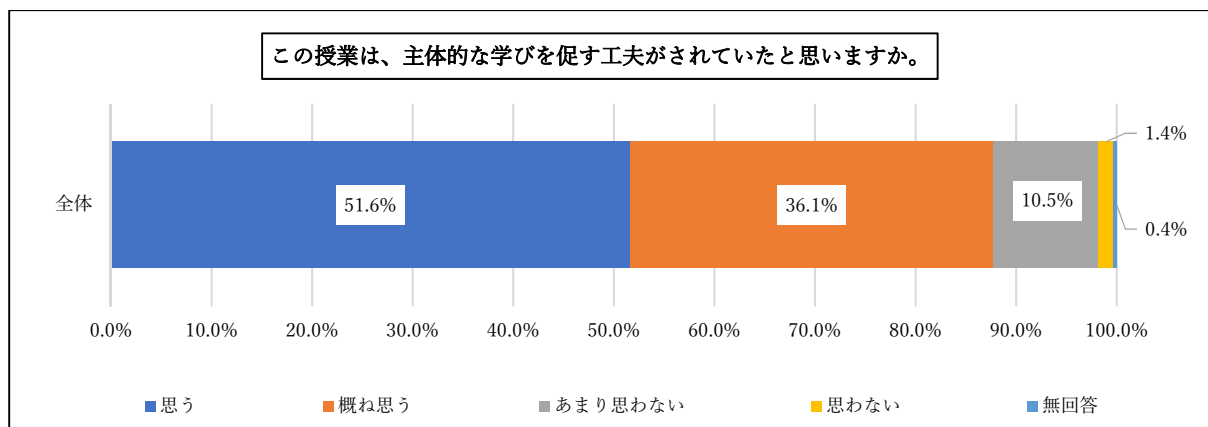




2024年度は、新カリキュラムの2年目であり、オンライン受講制度（ハイフレックス授業）の本格的な導入がなされた。また、新入学生数が定員を越え、受講生が増加した。「授業内容について」の上記5項目かんしては、例年、肯定的な回答が9割前後で推移しているが、2024年度春学期においてもそのような傾向となった。ただし、昨年度と比べて、最も肯定的な回答を選択する割合は減少している。

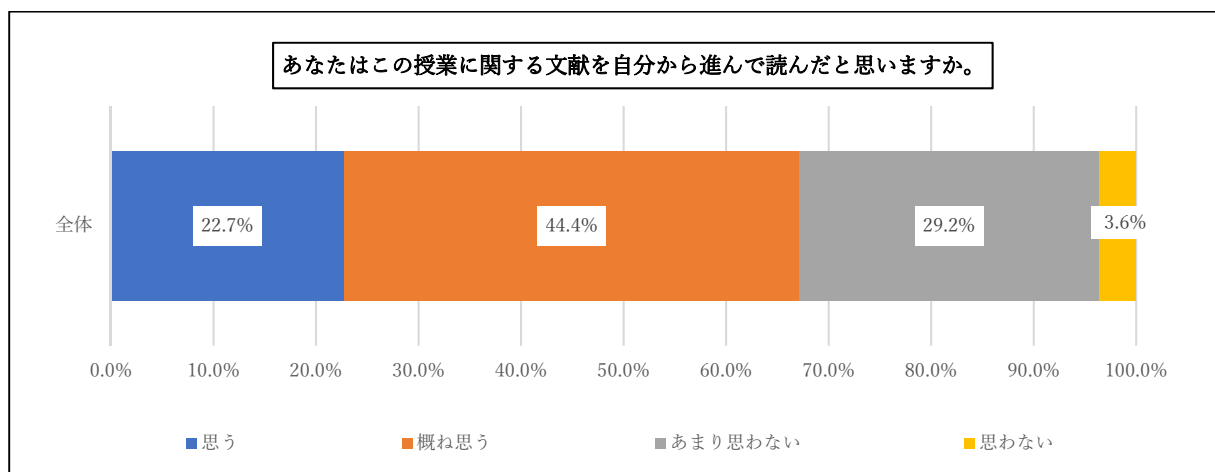
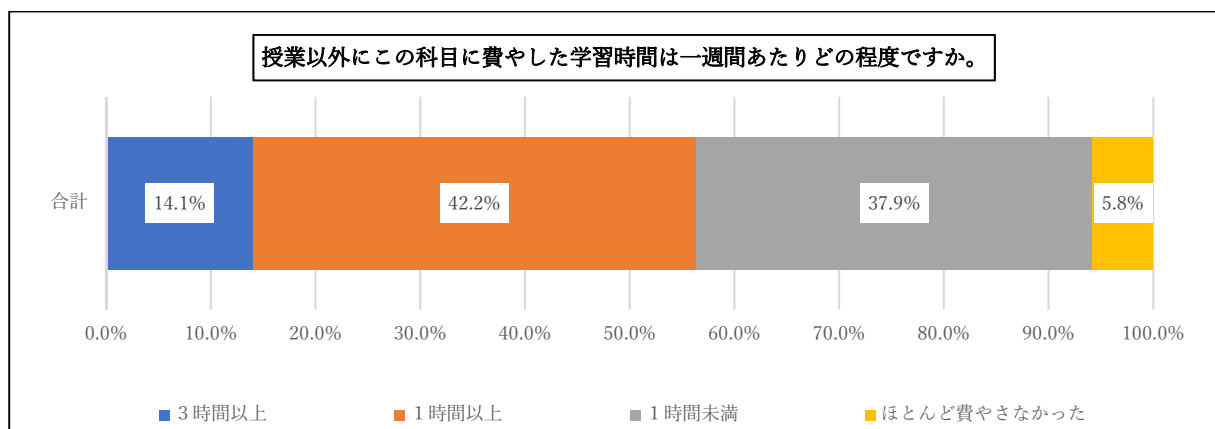
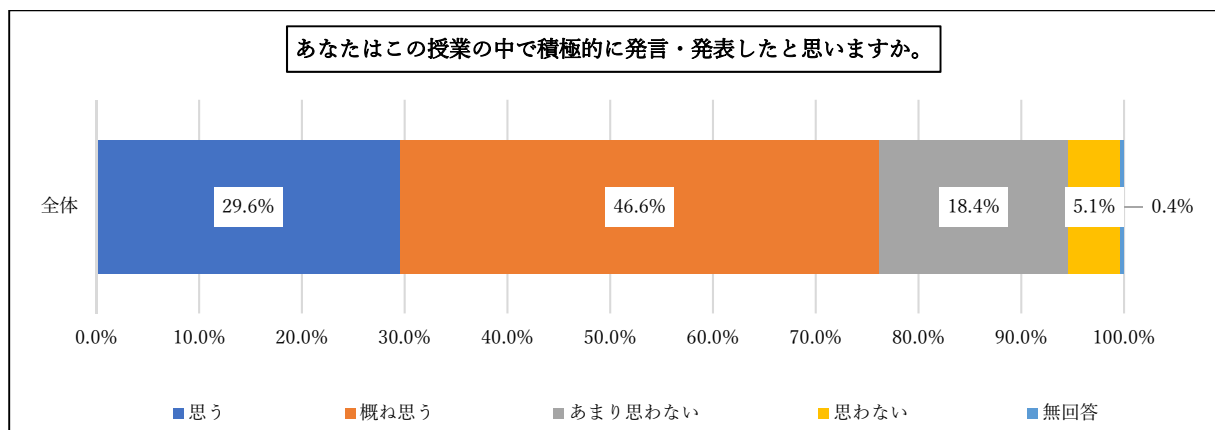
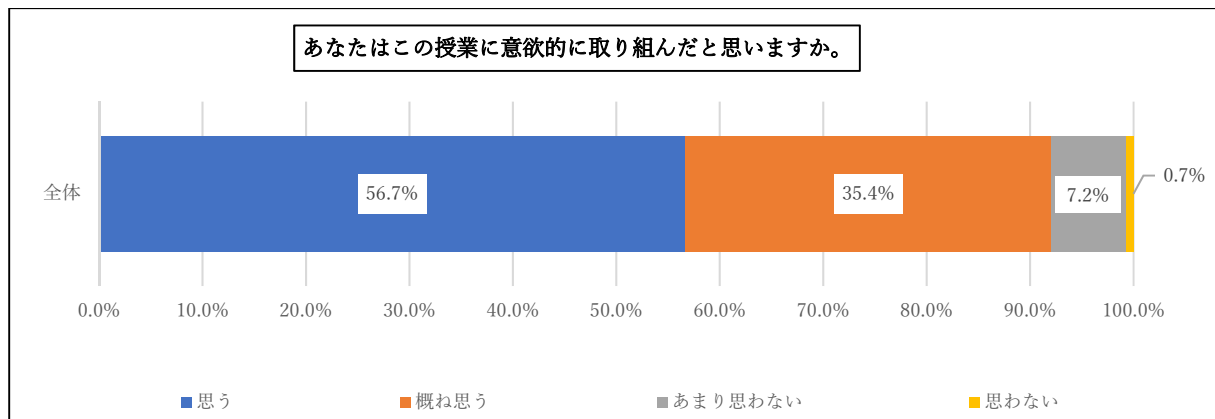
(2) 授業の進め方について

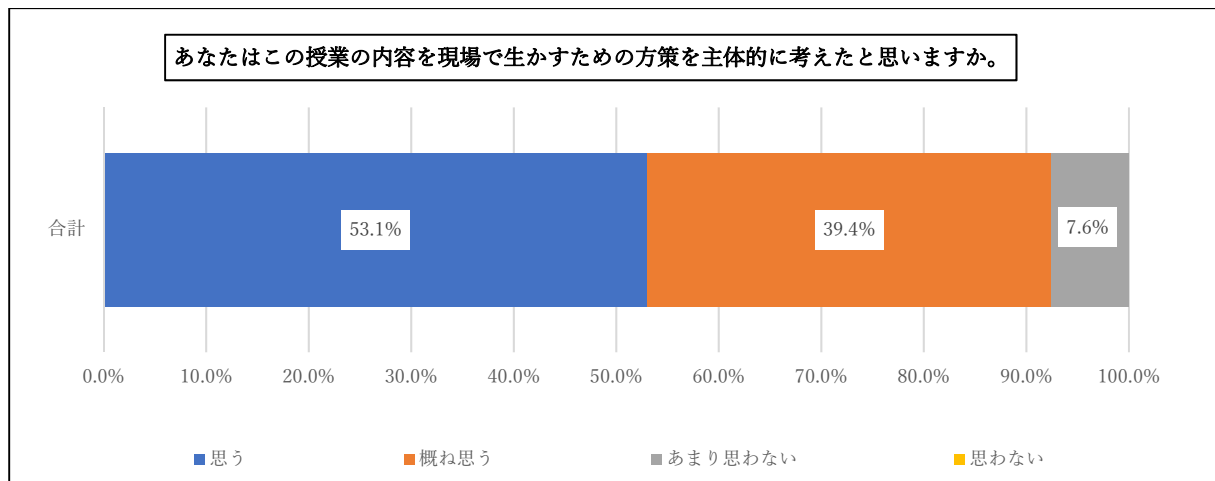




「授業の進め方について」の上記4項目については、ほとんど肯定的な回答の割合が9割を超える水準となった。ただし、「主体的な学びを促す工夫」については、1割が否定的な方向の回答をしている。受講生の増加が影響している可能性があるが、そのような中において、主体的な学びを促すことができるよう、一層の工夫が期待される。

(3) 受講生の取組について





「受講生の取組について」の上記 5 項目にかんしては、総じて、概ね意欲的に取り組んでいる傾向にあるといえる。ただし、2 割程度が、授業において積極的な発言をしていないという評価をしていた。また、授業外学習時間や、文献を自分から読むことについても、昨年と比べると、否定的回答の割合が増加していた。学部新卒院生のうちの多くが講師等で働くことで、主体性が高まる一方、多忙となる面もあり、より個別的な支援が必要であるといえる。